

支那事變ニ於ケル犯罪非違ヨリ觀タル軍紀風紀ノ實相竝ニ之ガ振肅對策

第一章 概況

第一節 犯罪非違發生ノ概況

其ノ一 緒言

犯罪非違ノ發生數ハ兵數ノ多寡、軍隊ノ素質及動靜、指揮官監察ノ嚴否、警防機關（各部隊ノ警視機關、憲兵等）ノ整否等ニ依リ増減スベキハ勿論ニシテ軍ニ之ヲ以テ軍ノ軍紀風紀ノ振否ヲ云爲スルハ適當ナラザルノ感アルモ犯罪非違ノ發生數ハ之ヲ計量スベキ重要ナル一段ト見ルヲ得ベク特ニ其ノ發生ノ態様、罪質、階級及役種別、發生ノ時機等ヲ仔細ニ觀察檢討セバ軍紀風紀消長ノ實相ニ近キモノヲ把握シ得ベジト信ズ

其ノ二 事變勃發以來全國軍ニ發生セル犯行數

一、昭和十二年七月事變勃發以來同十四年六月迄二箇年間ニ於ケル内地（朝鮮、臺灣ヲ含ム）滿洲及戰地ニ發生セル犯罪人員ノ總計ハ五、二

二一名ニシテ非違ハ三二、九六四名ナリ但シ以上ノ數ハ憲兵各隊ノ取扱ヒ又ハ知得セルモノニシテ實數ハ之ヨリ増加スベシ
 三今此ノ犯罪數ヲ日清、日露ノ兩戰役ニ比較セバ左ノ如シ

日清戰役總數 三、三八七

内地一、九〇六名
 戰地一、四八一名
 (全戰役)

日露戰役總數 五、二三四

内地三、七八〇名
 戰地一、四五四名
 (全戰役)

日支事變總數 五、二二一

内地二、〇四七名
 戰地三、一七四名 (滿洲ヲ含ム)
 (昭和十四年六月迄)

以上三戰役中戰地ニ於ケル犯罪數ヲ比較スルニ勿論出征兵力ノ差異大ニシテ期間亦異ナルモノアルモ今次事變ニ於ケル發生數著大ナルヲ知ルベシ尙半戰兩時ノ中間ニ位置シア爾關東軍ヲ排除シ純戰地ト認ムベキ在支各軍ト兩戰役トノ犯罪ヲ比較セバ左ノ如シ

關東軍ノ犯罪數七六四名ナルヲ以テ結局在支軍ノ犯罪人員二、四一〇トナリ之ヲ日清ノ一、四八一日露ノ一、四五四ト比較シテ遙

カニ高率ナルコトヲ知ルベシ

三、非違ノ發生數ハ日清日露兩戰^役ノ記錄ナキヲ以テ之ヲ比較スルニ由ナキモ上記三二、九六四名ハ憲兵ノ知得セルモノノミナリ唯此ノ數ニ依リ觀察スルトキ皇軍ノ軍紀風紀ガ果シテ嚴正ニ保持セラレアリトノ矜持ヲ中外ニ誇示シ得ルヤ密カニ忸怩タルモノアリ況ヤ其ノ内容ト性質トヨリ觀テ刑法處分ニ處スベキモノモ本人ノ功績ト犯行ノ情狀トヲ酌量シテ行政處分ニ附シタルモノモ相當數アリ而モ軍紀上相當惡性ナルモノ多數發生シアルニ於テヲヤ

其ノ三 犯罪非違發生推移ノ概況

一、事變勃發ヨリ昭和十四年六月迄ニ於ケル我が全陸軍ニ發生セル犯罪非違ノ推移ヲ現地ト内地トニ區分シ統計的ニ表示セバ挿表第一、第二、第三、第四ノ如シ

二、犯罪推移ノ觀察

挿表第一（現地）第二（内地）表ニ就テ觀察スルニ

0649

ノ戰地ノ犯罪ハ事變勃發當初部隊及兵數ノ激増ニ伴ヒ指揮ノ的確ヲ
缺キ各部隊ノ團結未ダ鞏固ナラザル時期ニ於テ増發スルハ蓋シ止
ムヲ得ザルモノアルベシ而シテ第一年末頃ヨリ逐次増加シ昭和十
三年末頃最高數ニ達シ昭和十四年春頃幾分減少シ爾後其ノ程度ヲ
持續シアリ各軍ノ曲線モ略之ニ一致シアリ此ノ傾向ハ兵員逐次ノ
増加ニ因由スルコトハ勿論ナルモ戰爭既ニ一箇年ヲ經過シ將兵志
氣ノ緊張ニ幾分弛ミヲ生ジタルヤノ疑アリ又一方昭和十四年ニ入
リ犯人減少ノ傾向アルハ兵員ノ交代及各部隊長ノ軍紀緊縮ノ成果
ニ依ルモノト思料セラル

然レドモ内地、現地共ニ爾後低減ノ傾向ナク現狀維持若クハ漸増
ノ氣配ヲ示シアルハ誠ニ遺憾トスル所ナリ

2. 更ニ之ヲ現地各軍ノ曲線（挿表第一）ニ就テ檢討スルニ

イ、關東軍ノ昭和十三年半頃ヨリ逐次増加セルハ此ノ頃ヨリ同軍ニ
召集兵及軍屬ノ著シキ増加ニ依リ犯罪モ亦多發ヲ見タルガ如シ
✓ 北支軍昭和十三年十月頃ヨリノ増加ハ此ノ頃同軍ハ戰鬭行動ヨ

リ警備駐屯ニ移ラントスル過渡期ニ於テ多發ヲ見タルガ如シ
ハ中支軍昭和十三年三月、七月、十月ノ多發ハ後方部隊ニ賭博犯
多發セルニ基因ス

ニ南支軍ハ昭和十四年四月頃ヨリ治安恢復ニ伴ヒ軍紀緊縮ノ手段
ヲ採リ非行ハ極度ニ減少セシモ犯罪ハ依然増加ノ傾向ニ在リ

3. 内地（挿表第二）ニ於ケル犯罪ノ消長モ一般ニ第一年ヨリモ第二
年ニ於テ多發シアリ特ニ同表註記ニ示スガ如ク最モ惡質ナル黨與
對上官犯多發ノ爲曲線ノ凹凸甚ダシキモノアリ

尙同表ニ表示シアルガ如ク事變勃發前一箇年間ノ發生數ト勃發後
ノモノトヲ比較セバ約二倍半ノ増加ヲ示シ軍紀風紀弛緩ノ一端ヲ
窺ハシム

昭和十四年ニ入り特別ナル集團的犯罪ハ消滅セシモ一般的犯罪増
加シ下向ノ傾向ナク注意ヲ要スベキモノアリ

三、非違發生推移ノ狀況

挿表第三、第四ハ憲兵ノ取扱ヒ又ハ知得セル非違發生ノ曲線表ナリ

内地現地共ニ事變第二ヶ年即チ昭和十三年八月頃ヨリ著シク増加ヲ示シ爾後低下ノ氣配ナク激増ノ一途ヲ辿リアルハ眞ニ寒心ニ堪ヘザル所ナリ

第四表ニ於テ内地ノ現役兵ト召集兵トノ犯行ハ略同數ニシテ現役兵ニモ相當注意ヲ要スベキモノアリ

現地各軍内ニ於ケル非違發生ノ態様モ犯罪ト同一ニシテ曲線亦兩者略平行シアリ然レドモ犯罪ハ十四年ニ入り一般ニ停止景況ヲ呈シア
ルニ拘ラズ非違ハ依然上昇ノ傾向ニ在ルハ注意ヲ要スベキ點ナリ

0652